

チャーミングな日用品365日

365日プロジェクトチーム編

文・川島蓉子

(伊藤忠ファッションシステム株式会社)



Charming Everyday Things

日本には、まだあまり知られていない
良いものが、数多く存在しています。
そこには作り手さえ気づいていない、
たくさんの価値や魅力が潜んでいるのです。

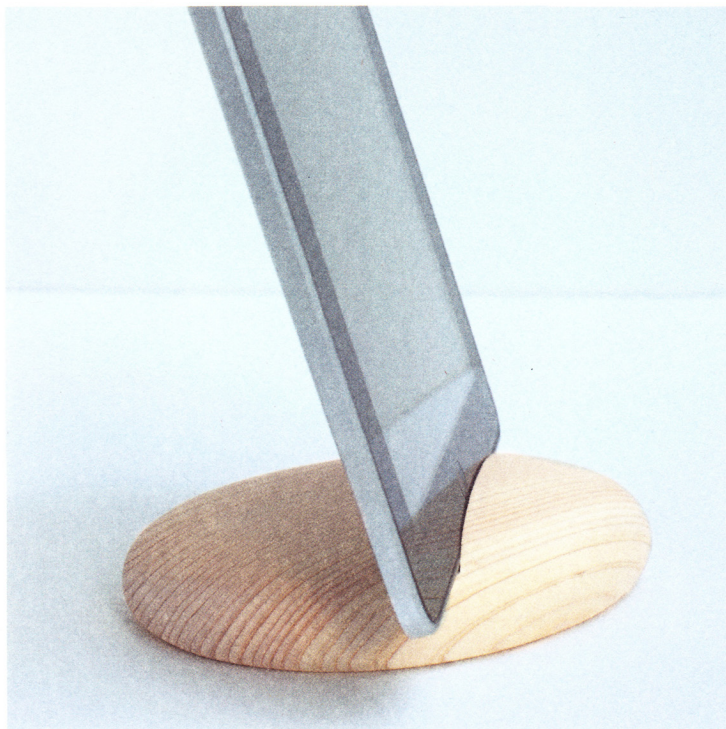
暮らしとモノをつなぐ日めくりカタログ



ハースト婦人画報社

“わが家の iPad は、ここにいます”

3
月
27
日



優しい佇まいの iPad 立て

リビングに1台、iPad が置いてあって、家族それぞれが好きな使い方をしている。

一人で使う時には、机や膝の上に置いて、画面を操作すればいいのだが、動画や写真を見る時は、立てた方が見やすく使いやすい。手で支えてもいいのだが、意外と重さもあって疲れる。

そんな時に、この iPad スタンドがあれば便利。「かたちが悪いことを理由に伐採された木」⇨除伐材を使ったモノ作りプロジェクト「sample」で作られたもの。デザイナー集団のトネリコが、捨てられるはずの木材を、役立つ存在に生まれ変わらせた。

丸みを帯びた円形のかたちは、手で削ったものだという。優しい曲面が付いていて、主張し過ぎずリビングに馴染んでくれる。使わない時は、テーブルの隅に置いておいても、さほど場所を取らないので便利だ。

四万十ひのきでできていて、かすかに清々しい香りがする。同時に作られた岡山産ひのきのタッチペンを使うと、香りがブレンドされる。

Calm trees L iPad stand / Sample

3,600円

Ⓜ〈有限会社サカイデザインアソシエイツ〉 info@sakaidesign.com

“野菜たちに日光浴させたら、甘くおいしくなった”

5月8日



干し野菜を手軽に作れるドライフードネット

干し野菜を手作りすることが、ちょっとしたブームになっている。

これは、干し野菜を作るための「ドライフードネット」。大根やニンジン、ナスなど、刻んだ野菜を入れておくと、すぐできあがる。

料理に使うと、野菜そのものの味が濃くなって、歯ごたえもしっかり。野菜だけでなく、キノコやフルーツにも使えるという。

レース地でできた3段重ねになっているので、埃や虫の心配をしなくていい。

カラフルなピンクとブルー、落ち着いたベージュの3色が揃っていて、かたちと色が愛らしい。

窓を開け放した台所の一隅に、あるいは、庭の木蔭にぶら下げておいたら、干し野菜がチャージングに見える。

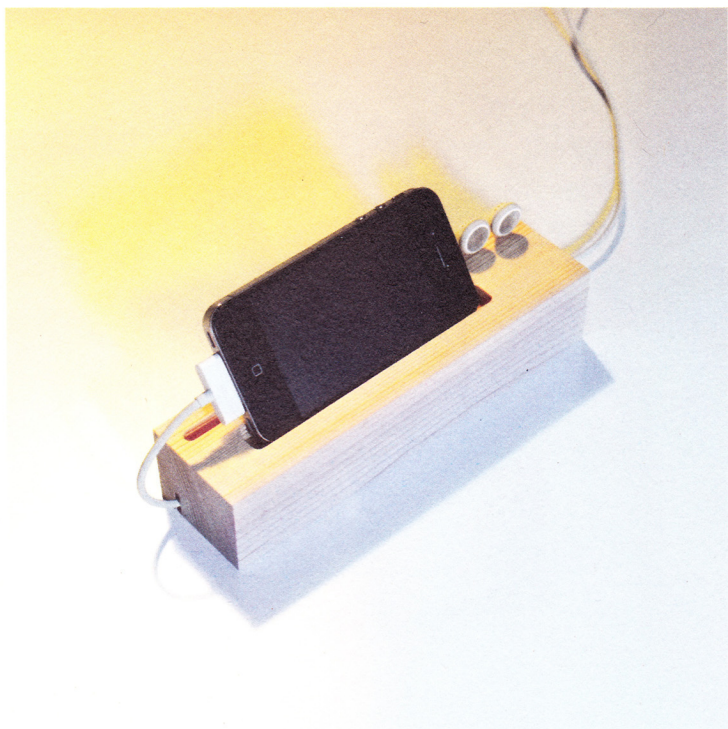
ひと干した食材たちは、張っていた表面に少し皺がよって、おいしそうな美人になる——少し手間をかけることで、料理の価値が上がった気分になれる嬉しい。

ドライフードネット／おいしいキッチン

3,675円

㊤株式会社リンクコーポレーション 0776-23-4231

9月3日



部屋の中の iPhone の居場所

かたちが悪い木や、根元の部分で曲がっている木など——切り倒されて放置されている除伐材を、プロダクトとして活かそうという意図から生まれたのが「Sample」というプロジェクト。デザイナーの酒井俊彦氏がプロデューサーを務めている。

「少し良いことをしているプロダクト」というテーマのもと、ユニークなプロダクトが数々揃っていて楽しい。

これは「under_bar」という名の iPhone スタンド。横置き専用で、USB ケーブルを差す場所と、イヤホンを収納する場所が設けてある。底面のスリットには、ケーブルがきれいにはまる工夫も——無駄がない直方体のかたちで、何気ないように見えて、行き届いたデザインだと思う。

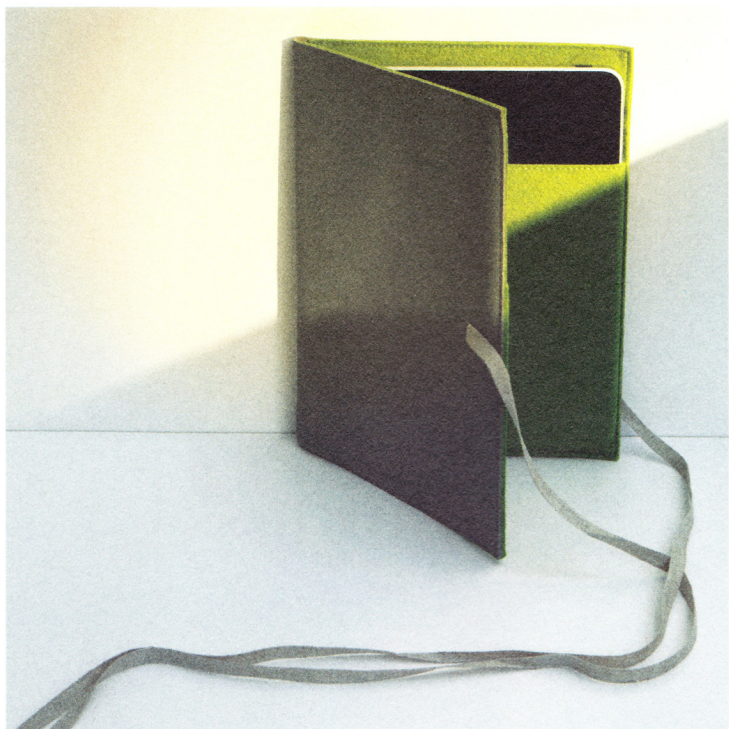
肌身離さず使っている iPhone なのに、部屋の中では、机の上に置きっぱなしということは少なくない。充電の時に、自分の居場所に落ち着かせてあげるのもいい。イヤホンと並んでいるすがたがユーモラスで、にやりしてしまう。

under_bar iPhone stand / Sample

3,950円

Ⓔ 有限会社サカイデザインアソシエーツ info@sakaidesign.com

9
月
28
日



革とフェルトでできたiPadケース

仕事で会う人が、iPadを持参で現れることが増えてきた。気になるのは、バッグから取り出される時のすがた——剥き出しということはほとんどなく、ケースに覆われて登場する。

革でできていて、紐をくるくると巻いてある——このiPadケースは、シンプルで上品なすがたに惹かれた。

裁断されたデッドストックのクルマ用のシートの革に、ウォッシュヤブルなフェルトを継ぎ合わせたものだという。

強度のある革を外側に、フェルトを内側に使っていて、iPadを保護している。グレーのレザーとモスグリーンのフェルトのコントラストが美しい。1.9mもある革の紐は、自由に長さをカットすることができる。同じ素材使用でiPhoneのケースもあって、お揃いで使ってもいい。

iPadやiPhoneなど、日々、愛用しているものは、季節によって、カバーを替える——持ち主と一緒に衣替えというのも一興だ。

Leather&Felt iPad case / Sample

12,000円

© 有限会社サカイデザインアソシエイツ info@sakaidesign.com

“おなかをすかせたクマは、iPad を食べてしまいました”

10
月
15
日



クマをかたどったiPadケース

愛らしいかたちだと思いい、見てみたら、iPadケースだった。コストュームアーティストのひびのこづえ氏が、「Sample」というプロジェクトの中で手がけたものだ。

「Sample」は、廃棄される素材を使ったり、伝統的な技法を持っている工場に依頼するなど「少しいこと+プロダクト」をコンセプトにしている。

これは、高級車のシート用で、使われなかった革を活用した製品。

クマのかたちをしたiPadケースで、ファスナーの部分を見立てている。

がぶりとかぶりつくようなイメージでiPadを入れるケース——そう聞くと、ユーモラスで笑みがこぼれる。耳の部分には、USBケーブルをしまう場所も設けてある。

お揃いで、ネズミをかたどったiPhoneケースもあるが、こちらは、入れたまま充電が可能な造りで便利。クマとネズミの愛嬌のあるコンビ——一緒に出かけると、ちよつとウキウキする。

iPad case クマ / Sample

8,700円

Ⓔ〈有限会社サカイデザインアソシエイツ〉 info@sakaidesign.com